



しもつけ Shimotsuke-City 市議会だより

NO.44

5月27日にオープンするゆうがおパーク
(石橋地区都市農村交流施設)



※写真は工事中のものです。

平成29年第1回定例会 2月28日～3月22日

平成29年度の注目事業	P 2
平成28年度補正予算	P 5
常任委員会審査報告	P 8
市政をたず 一般質問	P12
意見交換会を開催	P16

平成29年5月15日発行

発行：栃木県下野市議会

編集：議会だより編集委員会

ホームページ：<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

E-mail: gikai@city.shimotsuke.lg.jp

しもつけ市議会だよりは市ホームページでもご覧いただけます

下野市 市議会

236億7千万円

29年度の注目事業

- 第二次総合計画基本目標ごとの着目事業 -

下野市発足10余年が経過し、新たなまちづくりを本格的に芽吹かせるための「下野市地方創生実行予算」として編成されました。

人にやさしい環境が 安心なまちづくり

ほか1か所を整備。
防災設備も設置。



近隣公園予定地



オートキャンプ場等は
先行オープンしています。

市民と行政が づくり

設備事業
(実施設計) 1088万7千円



212万2千円

力対策基本計画の策定など。

基本目標1

大切な命を育み、健康で 笑顔あふれるまちづくり

○子育て世代包括支援センター事業
239万8千円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援のため、ワンストップ拠点として健康増進課にセンターを設置する。保健師、助産師が母子保健コーディネーターとして相談支援する。



○こども発達支援センター
こぼと園運営事業
1867万5千円

平成29年度きらら館に移転。
1日当たりの利用定員を15人から20人に増員し、機能を充実させる。

基本目標2

文化を育み、心豊かな人を 育て未来につなぐまちづくり



○大松山運動公園拡張整備事業
10億8529万8千円

陸上競技場、管理棟、多目的グラウンドの整備に着手する。平成31年度内のオープンを目指す。

○国分寺B&G海洋センター
改修事業
1億8866万9千円

体育施設並びに避難場所としての安全性を高める。また、アリーナ席を設置する。



基本目標4

地域資源を活かし、産業・地域が躍進するまちづくり

○産地パワーアップ事業 2850万円

イチゴの生産強化のため、一定の要件を満たす農業者の機械等の取得に対して、事業費の1/2を補助する。

○石橋地区都市農村交流施設指定管理者委託費 750万円(表紙写真)

都市農村交流施設の管理運営は指定管理者として「企業組合すがたがわ」に委託する。施設の愛称は「ゆうがおパーク」。5月27日にオープンする。

○宮前堰改修事業 2億9299万7千円

地域農業水利ストックマネジメント事業補助金を活用して改修する。H27～28年度実施設計、H29～30年度工事施工。今年度は頭首工改修工事を実施。



宮前堰

基本目標5

快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり

○都市再構築プラン策定事業 1200万円

JR3駅周辺における新たな定住の受け皿及び都市活動や生活を支える有効な拠点形成に向けたプランを策定する。

○歴史的風致維持向上計画策定 737万5千円

平成30年度までの2か年で策定し、国の認定を受けて文化財を活かした都市整備を進める。

《地方創生事業》(推進交付金活用事業) 総事業費5052万8千円

○しもつけ・未来・プロモーション事業 3114万8千円

シティプロモーション専用サイトの管理・運営、YouTube動画作成、PRアニメーション作成、移住促進セミナー開催など。

○観光プロモーション・イベント事業 912万7千円

下野市観光ツアー開催、イベント用仮設店舗購入など。

○定住希望者住宅取得支援事業 420万6千円

家庭菜園整備費補助のほか、新たに東京圏からの定住希望者の住宅新築に際し補助制度創設。基本額40万円、中学生以下の子ども1人につき10万円を加算する。

○東の飛鳥プロモーション事業 358万2千円

下野国分寺跡の建物復元コンピューターグラフィックを作成する。

一般会計予算総額

平成

基本目標3

豊かな自然と共生した安全。

○仁良川地区公園整備事業 2億2780万円

約10,000㎡の近隣公園マンホールトイレなど



○三王山地区公園整備事業 1億2591万円

総事業費7億9700万円。園路整備、遊具設置、植栽、樹木伐採、案内板設置。平成29年度で整備事業は完了する。

基本目標6

市民が主役の協働するまち

○コミュニティFM放送

コミュニティづくりや防災にも役立てるため、開局に向けて基礎調査、実施設計を行う。平成30年度に施設を整備する予定。

○男女共同参画推進事業

第二次配偶者等からの暴

市長施政方針から 平成29年度一般会計予算の概要

過去10年間は「自律した市」として財政基盤の確立を目指した期間であった。合併時に課題のあった財政状況は、行財政改革の推進と有利な財政措置の活用を図ったことにより、經常収支比率や将来負担比率が県内14市中で最良となるなど、すべての財政指標が改善された。

第二次下野市総合計画の2年目となる29年度は本市の魅

力的なまちづくりを本格的に芽吹かせ、さらに大きく飛躍させるスタートの年度と位置づけた。

「しもつけ重点プロジェクト」の着実な推進とともに、

昨年度策定した「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる地方創生事業の積極的な展開を図る「下野市地方創生実行予算」とした。

その結果、予算規模は総額236億7千万円となり、前

年度の予算総額と比較して4億1千万円、率にして1.7%の減額となるものの、新庁舎建設事業、および新庁舎移転を除けば、過去最大規模となる。

歳入の根幹をなす市税は地価の下落傾向などから前年度比0.2%減の92億4800万円と見込み、そのため、国・県補助金をはじめ、合併特例事業債、各種基金の効果的な活用を図ることとした。

主要事業について

現在、拡張整備を進めている大松山運動公園は、陸上競技場建設工事等に着手し、東京五輪開催の前年度中のオープンを目指す。三王山地区等の大規模公園整備にも引き続き取り組み、既存の公園や橋梁も長寿命化事業により将来の経費削減を図っていく。

まちづくりについては、3駅周辺のパクトシティや「都市核」の形成に向けた「下野市都市再構築プラン策定事業」に取り組むほか、本市の豊かな歴史資源を生かすため、県内では初となる「歴史的風致維持向上計画策定事業」に取り組んでいく。

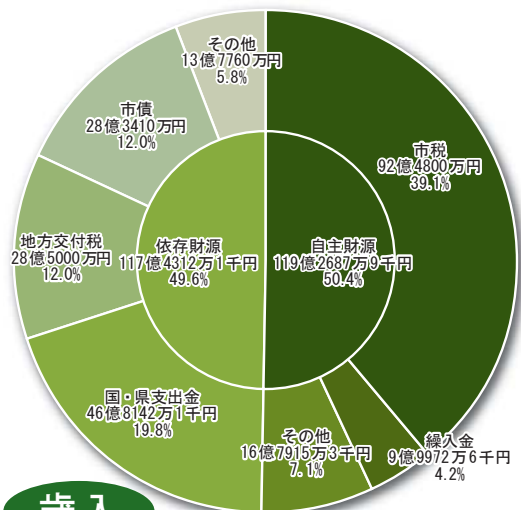
少子化対策としては、母子保健に関する総合的な相談支援拠点となる「子育て世代包括支援センター」の設置や産後一か月健診への助成を新たに実施する。

また、市民への防災情報の提供とコミュニティ強化を図るため、新たに「コミュニティFM放送局」の開設に取り組む。

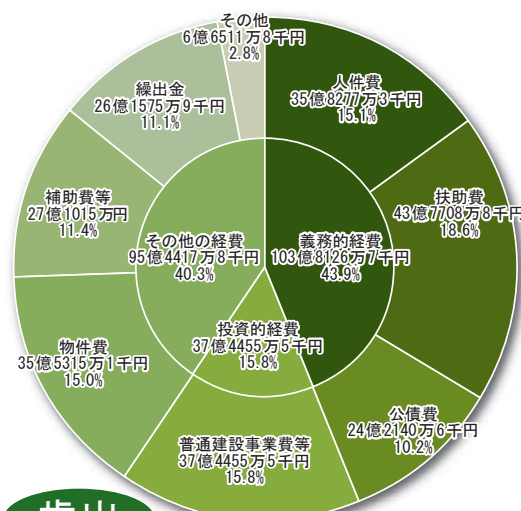
地方創生の取り組み

地方創生事業として本市の農畜産物を東京圏に売り込む「地元農畜産物普及事業」を引き続き実施するほか、東京圏から本市への定住促進のため「移住促進セミナー」の開催や「住宅新築補助制度」を新設するなど、人口増加対策に積極的に取り組んでいく。

平成29年度一般会計
総額 236億7千万円



歳入



歳出

※性質別内訳

平成29年度各会計予算

(単位:千円、%)

会計名	予算額	前年度との比較		
		増減	比率	
一般会計	236億7000万0	△4億1000万0	△1.7	
特別会計	国民健康保険	66億7965万7	1億2755万9	1.9
	後期高齢者医療	5億7648万9	3028万5	5.5
	介護保険	42億0467万6	4億5549万5	12.1
	介護保険(介護サービス事業助定)	0	△636万8	皆減
	公共下水道事業	17億9926万8	△7930万9	△4.2
	農業集落排水事業	4億1585万7	372万3	0.9
	石橋駅周辺土地区画整理事業	818万0	△142万0	△14.8
	仁良川地区土地区画整理事業	6億7591万8	△5448万4	△7.5
	企業会計	15億6574万5	△6115万7	△3.8
総計	395億9579万0	432万4	0.0	

28年度補正予算

資料館「夜明け前」を古民家カフェに グリムの森に「お菓子の家」風の売店を整備

28年度の各会計補正予算が提出され、全て可決されました。

一般会計では、各事業における額の確定のため総額で6458万8千円の減となりましたが、国の地方創生拠点整備交付金を活用した施設整備の費用などが新たに計上されました。



カフェに改装する「夜明け前」

丘公園の民俗資料館「夜明け前」を古民家カフェに改装する費用5593万4千円が計上されました。また、童話ヘンゼルとグレーテルに登場するお菓子の家をモチーフにした売店をグリムの森に設け、

グリムの館の2階を改装する費用に5099万8千円、ボランティア活動や施設見学への対応強化のため下野薬師寺

歴史館を増床する費用4598万2千円がそれぞれ計上されました。

このほか、国の臨時福祉給付金給付事業の費用や、財政調整基金などへの積立金が計上されました。



内部改装されるグリムの館

■平成28年度各会計補正予算

(単位:千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額	
一般会計	△6458万8	265億0806万6	
特別会計	国民健康保険	△6818万0	66億5481万7
	後期高齢者医療	822万0	5億5963万6
	介護保険（保険事業勘定）	194万4	38億6419万3
	公共下水道事業	△6899万7	16億3029万4

条例

下野市職員の給与に関する条例等の一部改正

管理職の職務及び職責の明確化を図り、実態に見合った適切な給与体系とするため、行政職給料表を従来の7級から8級とします。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

学校給食における食物アレルギーに対し適切な判断や対応をするため、食物アレルギー対応アドバイザーを新たに設置します。

体育施設条例の一部改正

長年使用されず、施設の老朽化が進む南河内弓道場を廃止します。



人事

任期満了となる教育委員会委員及び公平委員会委員の各1名について、再任することに同意しました。

■教育委員会委員

石嶋 和夫 氏

■公平委員会委員

篠原 洋 氏

その他

栃木県南公設地方卸売市場の民営化関連議案

本年10月1日から民営化される栃木県南公設地方卸売市場（小山市下河原田）について、一部事務組合の解散や財産の処分、解散に伴う事務の承継に関する3議案が可決されました。



民営化される栃木県南公設地方卸売市場

総括質疑

■29年度一般会計予算

問 石橋中学校大規模改修工事の実施設計費用

5292万円が計上されたが、事業全体における財源計画はどのようなになっているのか。

答 石橋中学校舎大規模改修に要する事業費については、通常の大規模改修工事費約9億円に加え、廊下の屋内化工事に約7億円、仮設校舎設置工事費に約3億円が必要となり、施工監理費を合わせ全体で約20億円余りになると現時点で想定している。

そのため、国庫補助金の学校施設環境改善交付金を最大限に見込み、加えて学校教育施設等整備事業債や合併特例事業債の活用を前提に財源計画を立てていきたい。

一般財源（市の持ち出し分）についても、公共施設整備基金の活用により財政負担の軽減を図っていく。

問 コミュニティFM放送設備の実施設計費用

1088万6千円が計上されたが、自主番組の割合はどの

程度になるのか。

答 放送局開局の免許申請に当たり、地域に密着した情報を50%以上放映するという審査基準がある。今後、放送審議会等を組織し、よりよい番組をつくってきたい。

問 子どもの学習支援事業の実施場所は2か所から1か所に変更するのか。また、委託料の算定根拠は。

答 利便性を考慮し学校教育サポートセンターと南河内児童館の2か所で実施したが、アンケート調査の結果、開催日時に関する意見や食事提供の希望が多数あり、そのため、時間帯の設定や変更が柔軟に行え、調理スペースが確保できることと園移転後の建物を活用することにした。希望に沿った柔軟な運営と食事の提供を行うため、市直営から市内の教員OBを中心に設立されたNPO法人に委託する。3時間を1コマとし1週間当たり2コマ分の人件費や教材、事務用品などの消耗品、食材料費、パソコンなどの備品購入費を委託料として算定している。

陳情

■「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情 **不採択**

陳情の要旨

厚生労働省の社会保障制度審議会医療保険部会では、「高額療養費」及び「後期高齢者の窓口負担」の見直しを検討しており、その審議において、患者負担増が提案されている。更なる負担増は高齢者の生活を圧迫し、必要な医療が受けられないという事態を招くため、受診抑制がおきないように現行の高額療養費制度、後期高齢者の窓口負担の継続を求める意見書を国に提出することを求める。

付託先の総務常任委員会では、「制度見直しの内容についてさらに研究すべき」と継続審査を求める意見が出されましたが、「陳情には財源についての言及がない」「低所得層への対応はなされている」などの意見により「不採択とすべきもの」と決定、本会議において不採択となりました。

■「県南広域的水道整備計画」に関する陳情 **継続審査**

陳情の要旨

思川開発事業の「県南広域的水道整備計画」について、自治基本条例に基づき計画の全体像について全ての情報が市民に提供されるよう、また、同計画の策定を県に要請するか否か広く市民の意見を求め積極的に施策に反映させるよう市に求める。

付託先の総務常任委員会では、「自治基本条例に照らして条例どおりにやるべきである」などの意見が出されましたが、「合意形成が図られていない状況であり慎重な審議が必要」「十分な研究を重ねて結論を出したい」との意見により閉会中も引き続き審査を続ける「継続審査」となりました。

本年第1回定例会は、23日間の会期で開催されました。市長提案により、28年度補正予算案、29年度予算案、条例の制定・改廃案など、45件の議案を審議しました。

常任委員会の審査を経てすべて原案どおり可決し、石橋中学校校舎改修等に関する特別委員会を設置しました。

第1回定例会 会期日程

- 2月28日 本会議（開会）
議案の説明、人事案件の表決
- 3月 1日 本会議
29年度予算案の説明
- 2日 本会議
一般質問
(塚原・中村・高橋・大島)
- 3日 本会議
一般質問
(小谷野・村尾・磯辺)
- 6日 本会議
総括質疑、委員会付託

付託議案・陳情の委員会審査(7～15日)

- 7、8日 経済建設常任委員会
- 10、13日 総務常任委員会
- 14、15日 教育福祉常任委員会
- 22日 本会議（閉会）
常任委員長審査報告
追加議案審査、表決

第1回定例会の審議結果

議案番号	付議事件	賛成	反対	結果	主な内容
同意1号	教育委員会委員の選任について	17	0	同意	3月31日に任期満了となる石嶋和夫氏の再任に同意。
同意2号	公平委員会委員の選任について	17	0	同意	3月31日に任期満了となる篠原洋氏の再任に同意。
議案1号	平成28年度一般会計補正予算（第4号）	17	0	可決	事務事業確定等による減額のほか、地方創生拠点整備事業などの追加。
議案2号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	17	0	可決	国・県からの補助金額確定、療養給付費交付金額変更などによる減額。
議案3号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	17	0	可決	保険料収入見込額の精査、保険基盤安定負担金の交付額確定に伴う増額。
議案4号	平成28年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	17	0	可決	介護保険システム改修費用の追加。
議案5号	平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	17	0	可決	下水道計画事業認可業務及び特環下水道事業の事業費確定に伴う減額。
議案6号	平成28年度山形市都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	17	0	可決	年度内完了が見込めない物件移転補償費を次年度に繰り越し。
議案7号	平成28年度水道事業会計補正予算（第2号）	17	0	可決	水道ビジョン及び水道事業経営戦略策定業務の継続費を補正。
議案8号	平成29年度一般会計予算	17	0	可決	28年度当初と比較して1.7%減の236億7千万円。
議案9号	平成29年度国民健康保険特別会計予算	17	0	可決	療養諸費32億4,662万9,000円、高額療養費4億8,158万4,000円など。
議案10号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	17	0	可決	栃木県後期高齢者医療広域連合への納付金5億3,624万9,000円など。
議案11号	平成29年度介護保険特別会計予算	17	0	可決	居宅介護サービス給付費16億1,600万円など。
議案12号	平成29年度公共下水道事業特別会計予算	17	0	可決	公共下水道費3億7,446万8,000円、特環下水道費3億5,295万1,000円など。
議案13号	平成29年度農業集落排水事業特別会計予算	17	0	可決	維持管理費1億1,138万4,000円、公債費2億6,647万1,000円など。
議案14号	平成29年度山形市都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	17	0	可決	土地区画整理事業費807万9,000円など。
議案15号	平成29年度山形市都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計予算	17	0	可決	土地区画整理事業費6億7,561万7,000円など。
議案16号	平成29年度水道事業会計予算	17	0	可決	水道ビジョン及び水道事業経営戦略策定業務委託など。
議案17号	自動交付機の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	17	0	可決	国分寺庁舎の自動交付機廃止に関し、関連条例を一括して改正。
議案18号	職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正について	17	0	可決	配偶者同行休業について、休業開始から3年を超えない範囲で延長を可能にする。
議案19号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	17	0	可決	法改正等により、育児休業の対象となる子の範囲を拡大、部分休業における介護時間を新設。
議案20号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	17	0	可決	法改正等により、育児休業の対象となる子の範囲を拡大、部分休業における介護時間を新設。
議案21号	職員の給与に関する条例等の一部改正について	17	0	可決	行政職給料表8級を導入。
議案22号	単純労働職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	17	0	可決	法改正に伴い、修学部分休業や高齢者部分休業、介護時間を追加。
議案23号	市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	17	0	可決	法改正により教育長が特別職の常勤職員になることから、関連条例を改正、廃止。
議案24号	教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	17	0	可決	法改正により教育長が特別職の常勤職員になることから、関連条例を改正、廃止。
議案25号	教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の廃止について	17	0	可決	基金の趣旨に即した施策の財源として活用するため取り崩しを可能とする。
議案26号	地域振興基金条例の一部改正について	17	0	可決	基金の趣旨に即した施策の財源として活用するため取り崩しを可能とする。
議案27号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	17	0	可決	法改正に伴い、修学部分休業や高齢者部分休業、介護時間を追加。
議案28号	こども発達支援センター条例の一部改正について	17	0	可決	こども発達支援センターこぼとけ園が、保健福祉センターきらら館へ移転。
議案29号	保健福祉センター条例の一部改正について	17	0	可決	きらら館に新設されるシャワー室、多目的室等の使用料を規定。
議案30号	学童保育室条例の一部改正について	17	0	可決	国分寺東学童保育室が国分寺東小学校敷地内に移転。
議案31号	工場立地法に基づく緑地等に関する準則を定める条例の一部改正について	17	0	可決	工場立地法の一部改正により、条例に規定されている引用条項を整理。
議案32号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	17	0	可決	食物アレルギー対応アドバイザーの報酬を設け、消費生活相談員の報酬を改正。
議案33号	体育施設条例の一部改正について	17	0	可決	老朽化に伴い、南河内弓道場を廃止。
議案34号	都市公園条例の一部改正について	17	0	可決	国分寺聖武館の改修に伴い、用途を変更し使用料を改定。
議案35号	公共施設マネジメント検討委員会条例の廃止について	17	0	可決	市公共施設等総合管理計画が作成されたため検討委員会条例を廃止。
議案36号	石橋地区都市農村交流施設における指定管理者の指定について	16	0	可決	石橋地区都市農村交流施設に指定管理者制度を導入。
議案37号	栃木県南公設地方卸売市場事務組合規約の変更について	17	0	可決	
議案38号	栃木県南公設地方卸売市場事務組合の解散について	17	0	可決	卸売市場の民営化に伴い事務組合の解散及び解散後の事務の承継、財産処分に関し、議決。
議案39号	栃木県南公設地方卸売市場事務組合の解散に伴う財産処分について	17	0	可決	
議案40号	市道路線の認定について	17	0	可決	開発行為により設置され、本市に帰属した道路1件（延長41.5m）を認定。
議案41号	公益社団法人全国市有物件災害共済会への加入について	17	0	可決	災害による財産の損害に対応するため、全国市有物件災害共済会に加入。
議案42号	工事請負契約の締結について	17	0	可決	南河内中大規模改修工事の請負契約締結について議決。
発議1号	石橋中学校校舎改修等特別委員会設置に関する決議について	16	1	可決	石橋中学校の改修計画について調査・検討するため特別委員会を設置。
陳情1号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情	2	15	不採択	現行の高額療養費制度、後期高齢者の窓口負担の継続を国に求める。
陳情2号	「県南広域的水道整備計画」に関する陳情			継続審査	「県南広域的水道整備計画」について市民への情報提供を求める。

●議案第36号は除斥（※）案件のため、16名で採決した。

表決が分かれた議案の議員賛否状況

議案番号	付議事件	出口芳伸	中村節子	柳田柳太郎	大島昌弘	高橋芳市	石田陽一	小谷野晴夫	須藤勇	秋山幸男	塚原良子	若林稔	野田善一	高山利夫	岩永博美	磯辺香代	松本賢一	岡本鉄男	村尾光子	
発議1号	石橋中学校校舎改修等特別委員会設置に関する決議について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情1号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○

○…賛成 ●…反対（議長は表決に加わらない）

※除斥・・・自己もしくは父母、祖父母、配偶者、子、孫、兄弟姉妹の一身の事件もしくはこれらの者の従事する業務に直接利害関係のある事件については、その議事に参与できない。これを除斥という。

常任委員報告

定例会で委員会付託された議案等について、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

総務

庁舎管理事業 (平成29年度 一般会計予算)

問

庁舎の維持管理に28年度は約1億2500万円、29年度は約9500万円の予算が計上されているが、庁舎の中長期修繕計画を策定する予定はないのか。

答

今回の公共施設等総合管理計画の中に新庁舎の改修等の計画は入っていないが、総合管理計画はおおむね5年ごとに見直しをしていく予定であり、次の改訂時期には最も大きな建築物なので含まれてくると考えている。



市役所庁舎

総務

下野市職員の給与に関する条例等の一部改正について

問

平成の大合併により町から市となったケースでは、7級制を採っている状況が多いが、今、8級制とする具体的理由を伺う。

答

現在は7級に部長、参事課長が混在し、給与に差がない状態である。合併10年が過ぎ年齢構成が落ち着き、ラスパイルズ指数も100を超えないと予測される。この時期に8級を創設し、給与の偏在を解消したい。

※ラスパイルズ指数・国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数

総務

コミュニティFM放送設備実施設計 (平成29年度一般会計予算)

問

コミュニティFM放送は、防災目的も兼ね備えるとのことだが、防災用の屋外拡声器はFM放送開始後も残るのか。屋外拡声器は、コミュニティFM放送開始後も残す予定である。コミュニティFMは防災拡声器を補完する形で活用していきたい。

答

総務

下野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

問

市はフレックスタイム制をどのように推進していくのか。職員全体への周知を図り、国全体が働き方改革を導入するので、その状況を見ながら検討を進めていきたい。

答

経済建設

夜明け前(民俗資料館)改修事業 (平成28年度一般会計補正予算)

問

古民家カフェで提供するメニューの内容を伺う。

答

地元産の野菜等をつかった創作料理や軽食など魅力的なメニューを、運営事業者等からの提案により決めていく。

経済建設

県営ほ場整備事業 (平成29年度一般会計予算)

問

農業農村事業計画調査が実施される薬師寺・柴地区における受益者の同意率は。

答

228名中206名で、90・4%である。

経済建設

自治医大駅東口 バリアフリー事業 (平成29年度一般会計予算)

事業の内容を伺う。

問 平成29年度に発注に向けた詳細設計を取りまとめる。その後、30・31年度と2年間かけて、ロータリー歩道の改修や、渋滞緩和のための工事を実施していく予定である。

答

経済建設

石綿(アスベスト)管布設替事業 (平成29年度水道事業会計予算)

平成29年度の計画を伺う。

問 平成29年度末現在で約13キロメートル残っている。29年度については約2キロメートルの更新を計画している。

答

教育福祉

スクールアシスタント事業 (平成29年度一般会計予算)

市内のアシスタント数を伺う。

問 29年度においては、生活支援員27名、図書支援員16名、複式学級の指導助手3名、外国語指導助手(日本人)3名、情報教育アドバイザー1名の計50名となる。

答

教育福祉

グリムの森施設整備事業 (平成28年度一般会計補正予算)

グリムの館改装増築工事の概要を伺う。

問 グリム童話「ヘンゼルとグレーテル」のお菓子の家をイメージした売店を設置する。また現在、グリムの館では控室が不足しているため、2階の図書室を控室にかえることを考えている。

答

教育福祉

認知症カフェ事業費 (平成29年度一般会計予算)

委託の内容を伺う。

問 委託先は、下野市内の認知症家族の会、場所は地域包括支援センターみなみかわちが現在使用している所で、月3回の開催を予定している。

答



グリムの館2階 図書室
控室に改修予定

教育福祉

大松山運動公園拡張整備事業 (平成29年度一般会計予算)

合併特例債の計画はどのように立てているか。

問 総事業費26億3400万円のうち、国費6億円、地方債18億7700万円、市単費1億5700万円、という計画である。特例債については27年度から29年度までで11億9930万円を予定しており、30、31年の2か年については、残り6億7770万円が活用限度となる。

答

委員会から

定例会最終日に行われた常任委員会審査結果報告では、次の内容を市に求めました。

■シテイセールス動画作成について

ターゲットと目的を明確にして費用対効果を意識した執行を望むと同時に、動画だけでなく若い世代や子育て世代の定住促進につながる施策の検討を望む。

■運転免許証自主返納について

返納された高齢者の移動手段の確保への積極的な取り組みを望む。

■文化財行政について

今般、機軸型埴輪を初め甲塚古墳の出土品が一括して国の重要文化財に指定されることになり、新たに文化財課も設置、風土記の丘資料館も改修の予定である。これらのことを契機に文化財行政のより一層の充実を図りたい。

現地調査を実施しました

教育福祉常任委員会



きらら館

温浴施設等の空きスペースを「健康維持メディカルトレーニング施設」へ、事務室等の空きスペースを「こぼと園関連施設」へと、それぞれの目的に応じて改修されたきらら館を視察しました。

経済建設常任委員会



石橋地区都市農村交流施設
(ゆうがおパーク)



三王山地区公園整備事業



仁良川地区公園整備事業
道路整備事業

仁良川地区土地区画整理事業の現地を視察し、事業概要についての説明を受けながら、公園整備や道路整備の進捗状況を確認しました。

総務常任委員会



第7分団第1部
新旧消防器具置場

現在 消防器具置場が設置されている上町公民館を視察した後、次の建設予定地である旧国分寺庁舎駐車場へ移動し、新しく建設する建物の概要について説明を受けました。



西坪山マテリアル
リサイクルセンター予定地

不燃ごみ及び粗大ごみの処理、また資源物及び有害ごみの一時保管のための施設であり、建設工期を平成29、30年度の2か年とし、31年度から業務が開始されるとの説明を受けました。



石橋中学校



大松山運動公園

- 教育福祉常任委員会
 - ・きらら館
 - ・石橋中学校
 - ・大松山運動公園
 - 経済建設常任委員会(栄町)
 - ・消防器具置場(栄町)
 - ・第4分団第2部
 - ・石橋庁舎イントラネット移設事業
 - ・西坪山マテリアルリサイクルセンター予定地
 - ・石橋庁舎イントラネット移設事業
 - ・三王山地区公園整備事業
 - ・仁良川地区公園整備事業、道路整備事業
 - ・宮前堰改修工事
 - ・石橋地区都市農村交流施設
 - ・三王山地区公園整備事業
 - ・仁良川地区公園整備事業、道路整備事業
 - 総務常任委員会
 - ・第7分団第1部
新旧消防器具置場(国分寺上町、仲町)
 - ・西坪山マテリアルリサイクルセンター
- 第1回定例会において、各常任委員会に付託された議案の審査に当たり、現地調査を実施し、担当部局から事業の概要等の説明を受けました。
- 現地調査した事業等**

▶ 議会広報編集について視察 (1月26日 滋賀県大津市 1月27日 滋賀県彦根市)

大津市議会の広報広聴委員会は議会運営委員会委員と正副議長で構成している。年5回の議会だより発行ごとに2回の委員会開催で、議会局担当職員が作成した掲載項目・紙面案の確認を行い、原稿執筆、紙面編集などは、議会局職員が担っている。この役割分担は議会だよりの速報性を重視し、議員は政策提案により力を注ぐためである。通常会議が閉会した2週間後には文字情報のみの「はやうち議会だより」をホームページ上に掲載し、1か月後には紙媒体の議会だよりが発行される。また、デジタルブック版の配信や掲載写真にスマートフォンをかざすと動画が再生されるAR（拡張現実）の導入など、他に例のない先進的な取組を実施していた。



大津市議会だよりに導入されているARマーク



(担当議員による) 視察対応プロジェクトチームから説明を受けた

彦根市議会では、広報広聴機能の充実を規定した議会基本条例に基づき、全議員が議場開放促進・広報・広聴のいずれかの委員会に所属している。「ひこね市議会だより」は広報委員会が担当し、それまでの行政的な発想から若者にも読みやすくするため、平成26年8月から委員会主導の編集とした。すべて議員（委員会報告は委員長）が原稿執筆、写真撮影を担い、ページ数は20～28ページと内容により幅がある。議会閉会后1か月半には発行、当編集委員会に比べ2週間近く早い。広報委員会は公式フェイスブックの更新も担当している。今後、掲載記事、早期発行などについて改善・充実を目指してさらに検討したい。

議会の動き

2月

- 1日 全国市議会議長会基地協議会第80回総会
- 3日 小山広域保健衛生組合議会臨時会
- 4日 市議会主催講演会
- 7日 思川開発事業勉強会
- 9日 正副委員長会議
議員全員協議会
- 10日 教育福祉常任委員会
- 15日 総務常任委員会
- 16日 経済建設常任委員会
議員全員協議会
- 18日 市議会意見交換会
- 21日 議会運営委員会
議員全員協議会
- 22日 議会だより編集委員会
- 28日～3月22日 第1回定例会

3月

- 6日 議会運営委員会
- 7日 小山広域保健衛生組合議会定例会
- 16日 正副委員長会議
- 21日 議会運営委員会
議員全員協議会
議会活性化特別委員会
- 22日 議会だより編集委員会
- 28日 石橋地区消防組合議会定例会
- 30日 県南公設地方卸売市場事務組合議会定例会

4月

- 6日 議会だより編集委員会
- 10日 第293回栃木県市議会議長会議
- 12日 石橋中学校校舎改修等特別委員会
議会運営委員会
- 20日 議会だより編集委員会
- 25日 第83回関東市議会議長会定期総会
- 26日 議会だより編集委員会
- 27日 議会活性化特別委員会
石橋中学校校舎改修等特別委員会
議員全員協議会



市政をたたく

一般質問

第1回定例会では、7人の議員が市政に対し、一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。



塚原良子 議員



問 エンディングノート書き込みのレクチャーを

答 法律家・医師などによる講座を検討

問 市は昨年11月に「しもつけエンディングノート」を作成したが、市民の反応は。

答 市長 配布先などの問い合わせが多く、関心の高さがうかがえる。

問 「エンディングノートを埋めるのは高

年齢にとつて容易ではない」との意見がある。特に延命治療や相続、遺言等の法的問題が発生する事項については、法的知識を得てからの記入が求められる。真にノートが生かされるための、市民へのレクチャーを求む。

市長 今年度は2月にケアマネージャーを対象に「終活を考

える」として研修会を実施し、3月には市民を対象に終活セミナーを開催する。来年度は、老人クラブやふれあいサロンの参加者を対象とした講座のほか、「葬儀・死生観・財産・後見制度について」と題して、市民を

対象に、エンディングノートを活用した講座を検討している。なお、資産・相続については弁護士や司法書士による講座を、延命治療や在宅医療などについては医師による講座をとり入れ、ノートの活用を図っていく。

市長 今年度は2

月にケアマネー

ジャーを対象に「終活を考

ほかに・・・

問 保育園民営化に伴う受託事業者の選定について

答 サービスの質など専門的かつ公正に評価することが必要と考える。



愛する家族へ思いを託す

※希望者は高齢福祉課まで ☎32-8904



災害にそなえて準備しましょう

中村節子 議員



問 身近に学べる防災学習の推進を

答 家族で参加できるイベントなども考えていく

でいるのか。

市長 自治会や自主防災組織への防災訓練や防災講話などの

答 市民生活部長 29 日工夫してほしい。総合年度に公民館講座 防災訓練も、体験コーナーを設けるなど、家族で

支援、HUG（避難所運営ゲーム）の用具貸出などを行っている。

「みんなで防災」を開催し、HUG体験などを予定である。参加できるようにしては。

既に防災に取り組んでいる人だけでなく、広がりを持たせるためには努力が必要だと思いが。

問 土日の開催や時間帯、広報の仕方など考えていきたい。

問 既に防災に取り組んでいる人だけでなく、広がりを持たせるためには努力が必要だと思いが。

答 新たな方が参加できるよう、イベントなど考えていきたい。

災害にそなえて準備しましょう

既に防災に取り組んでいる人だけでなく、広がりを持たせるためには努力が必要だと思いが。

高橋芳市 議員



問 土木行政の要望書の対応について

答 生活道路整備修繕要綱に基づき対応している

問 土木行政に出される要望書は年間どのくらいか。また、要望はどのように計画に反映され、優先順位はどのように決定されるのか。

市長 要望の数は、平成27年度は38件、28年度は2月末時点で750件である。自治会からの要望書は合併以前から多数寄せられていたが、旧町ごとの多様な基準で採択されていたため、平成21年11月に生活道路整備修繕要綱を制定した。22年度からは現行制度により、7年間で累計160件、年間約23件の要望を受け付けている。舗装や排水改善などの修繕要望と、拡幅改良

などの整備要望に分類して受理し、採択順に実施しているが、危険性や緊急性、予算と施工規模の大小などにより、順番が前後する場合もある。

問 実施の可否や計画の報告体制は確立されているのか。

市長 簡易な修繕は国や県の担当部署へ取り次ぎ、事業化が必要な案件は、県議会県土整備委員会などを通じて要望を行っている。

市長 要望の数は、平成27年度は38件、28年度は2月末時点で750件である。自治会からの要望書は合併以前から多数寄せられていたが、旧町ごとの多様な基準で採択されていたため、平成21年11月に生活道路整備修繕要綱を制定した。22年度からは現行制度により、7年間で累計160件、年間約23件の要望を受け付けている。舗装や排水改善などの修繕要望と、拡幅改良

などの整備要望に分類して受理し、採択順に実施しているが、危険性や緊急性、予算と施工規模の大小などにより、順番が前後する場合もある。

市長 簡易な修繕は国や県の担当部署へ取り次ぎ、事業化が必要な案件は、県議会県土整備委員会などを通じて要望を行っている。

市長 簡易な修繕は国や県の担当部署へ取り次ぎ、事業化が必要な案件は、県議会県土整備委員会などを通じて要望を行っている。



歩道改修の要望書が提出されている市道

大島昌弘 議員

問 小中学校教育・学校内環境について伺う

答 ICT教育を計画的に進める



問 小中学校のトイレの洋式化への改修計画について伺う。

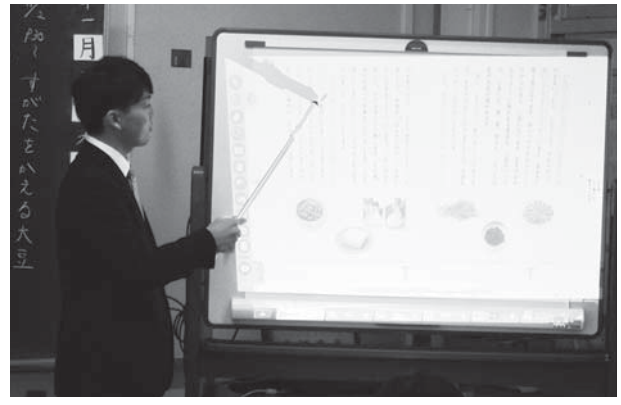
答 教育長 本市における洋式便器の割合は45・5%で全国平均を若干上回っている状況だが、今年度、南河内中学校と国分寺東小学校の大規模改修により51・3%となる。今後の改修計画に国庫補助金や市債な

問 ICT教育の今後の計画について伺う。

答 教育長 小学校に電子黒板を1台ずつ、中学校に50インチのディスプレイとタブレット

ほかに... 中小企業の事業継承対策について伺う。

答 中小企業の振興に関する条例を制定していく。



小学校に導入される電子黒板

小谷野晴夫 議員

問 病児対応型保育事業を新小山市民病院で！

答 新年度の早い時期から利用できるよう進める



問 済生会宇都宮病院だけに委託している病児保育事業だが、本市から小山市に通動している人も多い。小山市のほうでも対応のできる体制を。

答 市長 子どもが病

者や家族が温かく看護す

気の際には、保護

者が家族が温かく看護す

問 新年度の早い時期から利用できるよう進めていく。

答 小児科医や医師数が全国的にも多い

問 小児科医や医師数が全国的にも多い

ほかに... 本市の奨学金貸付事業に給付型奨学金の制度を。

答 現行制度の利用者との公平性を勘案しながら、方向性を示せるようしっかりと検討していく。



病児保育事業を委託している済生会宇都宮病院

村尾光子 議員



問 太陽光発電設備設置の規制策を求め

答 設置規制のあり方について研究する

問 再生可能エネルギーへの転換を進める上で、急増している太陽光発電設備設置は大きな役割を果たしている。しかし一方では、平地林や農地の消失、景観を損ねたり雇用を生み出さずに工場専用地域の占用を招いている。自然環境保

全と太陽光発電設備設置の調和を図るため、保全地区の設定や設置規制などの対策を講じられたい。

止や自然公園等の景観保全の状況、売電価格の推移全の観点から、独自に条例や要綱などにより規制を設けている自治体もある。自然環境保全や景観に十分配慮した施設設置が望ましいと考えている。国・県の動向や他自治体



設置された太陽光発電設備

答 市長 太陽光発電施設設置に関する都市計画法、農業振興地域整備法、農地法、森林法などの法的手続きは比較的容易であり、本市でも多数設置されている。急傾斜地での土砂災害防

ほかに・・・
問 水道事業石橋4号井廃止後の水源確保方針は。今後10年間は、石橋4号井の代替井戸は必要ない。

磯辺香代 議員



問 同一労働同一賃金は非正規職員に及ぶか

答 国は関連法の改正を目指すとしている

問 ニッポン総活躍社会実現政策の一環として同一労働同一賃金という考え方が示された。本市の非正規職員の実態を保育士を例に伺う。収入格差はどのくらいか。

た月額給与が約34万5千円、フルタイムの臨時保育士では約18万6千円となっている。勤務経験20年の保育士と比較すると、その差は29万8千円となる。

答 市長 私立の認可保育園、認定こども園が対象だ。本市の臨時保育士については28年度に時給1050円を1200円にアップした。

今後、同一労働同一賃金の考え方は必要な条例の整備、見直しを図っていく。

答 市長 勤務経験10年の正規保育士では賞与の12分の1加算し

策が盛り込まれる。本市保育士処遇に反映されるのか。

ほかに・・・
問 新庁舎の効果の根拠をもって公表されたい。

ほかに・・・
答 開庁1年を経た時点でお示ししたい。



市内の保育園の様子

意見交換会を開催しました

2月18日(土)、18人の議員が市内3会場に分散し、市民の皆様との意見交換会を開催しました。3会場で計42名のご参加をいただき、たくさんのご意見をいただきました。いただいたご意見について、終了後議会としての見解をまとめましたのでここに掲載いたします。

ご意見への議会の見解・説明

ていきます。

市民意見▼ 思川開発と下野市水道事業について

市の水道事業に影響をもちます思川開発について、市民に知らされないままことが進んでいるように思う。現在の市の水道水源は地下水100%だが、思川開発事業によってダムが建設され、水道水源を表流水に転換していくと聞く。料金が高くなり、まづい水になることが懸念される。市長が県に要請する前に市民に情報公開していただきたい。住民の意見も聞くよう、議会として援助してほしい。

(3会場)

市民意見▼ 体育センターの利用について

利用料金が市内市外を問わず同額なので、市外の方の利用が多くなり、市内の団体が予約をとれなくなった。料金の差別化を望む。

(石橋)

議会

市内のスポーツ・レクリエーション施設は県央都市圏6市4町(注)で広域利用協定を結び、相互利用をしています。料金の差別化は行いませんが、本市のスポーツ少年団や体育協会等の使用に関しては減免しています。今後は、



意見交換会

小山地区定住自立圏共生ビジョンプロジェクトの中でも、スポーツ施設の共同利用ネットワークの構築を考えています。(注)圏央都市圏・宇都宮市・鹿沼市・日光市・真岡市・さくら市・下野市・上三川町・芳賀町・壬生町・高根沢町

市民意見▼ 石橋地区ではテニスコートが足りない。増設してほしい。

(石橋)

議会 増設要望と受け止め、教育福祉常任委員会でも調査研究します。



市民意見▼ 独自の自治会公民館がない

市から、自治会で地域防災倉庫や見回り隊、老人クラブのサロン等を作れと言われるが、借地の自治公民館であり手狭でやりきれない。人口が増えている地域なので、なんとかしてほしい。

(石橋)

議会 自治会公民館の新築に

については、土地の取得は自治会が行い、市は建築費の2分の1(上限3百万円)を補助しています。他に適切な支援方法があるかどうか、所管常任委員会で近隣市町の例などを調査します。

市民意見▼ 予算が伴う市への提案は、誰に訴えればいいのか。

(南河内)

議会 道路などの生活環境に関することは自治会を通して市に要望してください。それ以外のことは、担当課にご提案するか、市長のタウンミーティング、市政への提案書をご利用ください。議員に相談するのも一つの方法です。議会へ請願・陳情の提出もできます。

市民意見▼ 薬師寺コミュニティセンター建設時の地元要望が活かされていない

地域住民の意見を聞いたのに、完成してみると十分に取入れられていなかった。議会は指導してもらいたい。

(南河内)

議会 住民意見を的確に把握し、行き違いのない、住民満足度の高い事業が行われるようチェックします。



市民意見▼ 学校適正配置基本計画の進捗状況について

子供会育成会支援会に参加しているが、メンバーは誰も「小中一貫校」のことを知らなかった。情報の断絶があり、行政はきちんと話していくべきだ。また、南河内中学校では小中一貫校に向けて工事をはじめている、と聞いたが。

(南河内)

議会 平成25年11月に策定した「下野市学校適正配置基本計画」では、南河内中学校区は『将来的に小中一貫教育の推進を図る』として位置付けられました。そこで、この中学校区での学校のあり方や教育環境について話し合う協議会を設置し検討を進めてきました。市長からの諮問もなさ

れ、本年2月に「南河内中学校区小中一貫教育に関する提言」を出し、(1)南河内中学校区に義務教育学校を導入する(2)義務教育学校は施設一体型とする、(3)施設は南河内中学校敷地内に設置する、と今後の方針を明らかにしました。今後、義務教育学校開設に向けての具体的な構想について協議を進め、段階的に提言を行うとしています。

関係する4小中学校の保護者と地域に対する説明、意見聴取は「提言」を作成する過程で行いました。広く市民へは広報4月号にて周知します。

平成29年度に予定している南河内中学校の工事は、通常の大規模改修です。



市民意見▼ 要支援1、2の認定者への介護予防リハビリテーションの充実を
要支援1、2の人を対象とするデイケア施設がない。

(国分寺)

議会 要支援1、2の方々への介護予防リハビリについて、市として前向きに取り組むよう伝えます。



市民意見▼ 小山水土の管理についての協議はどうなったか。

(国分寺)

議会 国分寺運動公園から小山市との境界までの間に樹木がはびこり、放置すると護岸壁が砕けてしまうので早急な伐採が必要とのことで話を進めてきました。下野市の占用区域については経費の半分を市が負担することを提案していますが、国分寺土地改良区と小山水土改良区の協議はまとまっています。(3月

の小山水土改良区理事会にて、3者の話し合いに参加することが了承されましたので、現在日程を調整中です。)

市民意見▼ 「哲学の道」の補修整備をお願いしたい

一部にアスファルトが砂利のように砕け、滑りやすく危険な箇所がある。(国分寺)

議会 建設課に早急な現地調査を要請しました。

市民意見▼ 市歌について

歌詞はもらったがメロディーがわからない。市のイベント等の時に歌ってはどうか。(国分寺)

議会 市のイベント等でももう少し積極的に歌ってもらおうと要請します。

市民意見▼ 屋外拡声器について

市全体を網羅できる聞こえ方になっていない。我が家では非常用放送が全く聞こえない。(国分寺)

議会 点検を兼ねて定期的にメロディーを流しています。いざという時のためでもあります。拡声器からのメロディーがうるさいと言う市民と、

聞こえないと言う市民がいることも事実です。(平成29年度にコミュニティFM放送開局実施設計を予定しています。今後は、屋外拡声器はレビ、ラジオ(FM)、携帯電話エリアメール、広報車等の複数の手段により互いを補完させる形で情報伝達が行われると考えます。)



市民意見▼ 議会だより43号(2月発行)を読んで

議会報告会での思川開発事業のやりとりは、議員としての権能を放棄した発言だと思う。議会としては目付の機能を果たしてほしい。(南河内)

議会 報告会でのご意見を受けて、2月に議会全体で南摩ダムの現地調査と県南広域的水道整備計画についての勉強会を行いました。

議会改革への 取り組みについて

合併後下野市議会で取り組んできた議会改革について、意見交換を行いました。

①議会基本条例の制定について②議員定数の検討状況について③議員報酬について④政務活動費について⑤会派制の導入について⑥市の審議会等へ選出される議員の報酬について⑦本会議録画配信について⑧新庁舎における議場等の設備検討について⑨委員会制の導入について

市民意見▼ 政務活動費について

市のためにやれば良いと思うことを調査研究して政策提案するのは議会の大事な機能だから、政務活動費は必要なタガをはめた上で導入したらいいと思う。若い世代の方が生活と政務活動ができるよう必要だ。

議会 議会活性化特別委員会

で議論してきましたが、使途の透明性を高めたとしても現在の社会状況では市民の理解が得られないとの結論に至り見送ることになりました。

市民意見▼ 会派制について

会派制導入のメリットは何か。また、会派は国政政党と同じになるのか。会派制について、議会基本条例に規定されているのか。会派が派閥になり、内部で親分子分の関係ができることを懸念する。会派制実施後は正当な運用を求めたい。

議会 会派は、主義主張を同じくする議員によって作られる集団です。主義主張が同じなので、結果的には政党などと重なる可能性はありますが、地方議会においては政党色は薄まるものと思われま

す。政策を実現するために、会派においてなされる調査研究や議論は重要ですし、一般質問に際しても、会派で揉まれたものが出せるのではないかと思います。平成25年に制定しました議会基本条例第4条で会派について規定しました。細則を平成29年度中に定め、次期改選後には導入することになります。

市民意見▼ 常任委員会制について

議員は常任委員会に所属し、それぞれ所管事項があるとい

うが、所管外のことには口出しできないのか。

議会 議会に上程された各議案は、議長により常任委員会所管ごとに振り分けられ、審査が付託されます。自分の所属する常任委員会の所管事項以外のことについては、付託がなされる前に本会議で質疑ができます。総括質疑と言います。付託後、議員はそれぞれの常任委員会で詳しい審査を行います。

市民意見▼ 録画配信について

本会議のライブ配信をしてほしい。また、現在は一般質問の録画配信をしているが、常任委員会の録配信もしてほしい。

議会 今後検討します。

市民意見▼ 常任委員会傍聴席について

スペースが狭い。また、メモを取ることもあるのでテーブルが必要だ。

議会室のレイアウトを変えて改善しました。傍聴者用のテーブル配置については検討をします。

をします。

意見交換会 アンケート結果

石橋会場16名、南河内会場14名、国分寺会場12名 合計42名の方にご参加いただき、その内、30名の方からアンケート調査にご協力いただきました。

※いただいたご意見

開催したことへの評価について

「開催することが出発なので、スタートしたエネルギーに感謝」「市民から直接意見を聞くことに大きな意義がある」「議員活動が見えてくる」「素朴な質問、ホンネの回答が聞けてよかった」「今まであまりにも少ない。活力が見えない。市民の負託にこたえているのか？」

市議会への期待について

「このような企画をするようになってよかったと思う」「5年、10年後の市のビジョンなどについても議題にしてほしい」「住みやすい町にするため、さらなる努力を望む」

今回の感想や内容についての希望など

- ・今回のような内容でよい
- ・チャシ等でもっとお知らせをしては
- ・定期的にならずやってほしい
- ・日常的な問題を検討してもらった
- ・議員のレベルアップをしてほしい。地域にもっと入って意見を聞いてほしい
- ・議員が質問にしっかり答えていたことは評価できる
- ・議題数を3〜5にして意見交換した方がよい
- ・地域住民の実態を把握してほしい
- ・固くならず、忌憚のない意見を聞いてもらった
- ・参加者が少ない。増やす方法を考えてほしい

意見交換会 各会場と担当議員

石橋会場



会場：スポーツ交流館

班長 石田陽一
副班長 塚原良子
大島昌弘
須藤 勇
高山利夫
岩永博美



南河内会場



会場：薬師寺コミュニティセンター

班長 秋山幸男
副班長 磯辺香代
中村節子
高橋芳市
野田善一
松本賢一



国分寺会場



会場：国分寺駅西児童館

班長 小谷野晴夫
副班長 若林稔
出口芳伸
柳田柳太郎
岡本鉄男
村尾光子



石橋中学校校舎改修等特別委員会を設置

29年度予算では石橋中学校の校舎大規模改修工事の設計費用が計上されました。

同中学校は、「自然との調和」、「地域社会との交流」、「美しく使いやすい」という3つのコンセプトにより、生涯学習や文化活動の場の機能を持つ公共施設として平成7年に開校しましたが、近年は夏季・冬季における暑さ・寒さ等環境問題、施設の経年劣化などが生じています。

市ではそれら問題を改善するため改修を計画してますが、市議会としても子どもたちの快適な教育環境の充実を、より効率的に進められるよう、校舎改修等について調査・検討を行うことを目的とした「石橋中学校校舎改修等特別委員会」を設置しました。

3月21日 議員全員協議会

小中一貫教育推進について説明を受けました

中央教育審議会答申において、小中一貫教育が提言され平成27年6月に義務教育学校が制度化されました。これを受けて、本市においても下野市学校適正配置基本計画に基づき、南河内中学校区における小中一貫教育推進協議会を設置しました。

6回の審議会と地域・保護者への説明会を経て、現南河内中学校に吉田東小・吉田西小・薬師寺小を統合し、義務教育学校として小中一貫教育を行うことになりました。

また、国分寺西小学校においては、小規模特認校制度をこのまま継続して複式学級の解消を図っていくことは困難であると判断し、平成31年度に国分寺小学校との再編を行い、国分寺中学校とともに施設隣接型の小中一貫教育を行うことになりました。



2月4日 市議会主催の講演会を開催しました

歴史文化で地域活性化～日本を元気に～ 歴史プロデューサー 早川 知佐 氏



2月4日(土)、議会主催講演会が新庁舎3階の会議室で開催されました。講師は歴史プロデューサーの早川知佐さん。タイトルは「歴史文化で地域活性化～日本を元気に～」。

早川さんは長野県上田市の観光大使で、昨年、話題になった「真田丸」の大河ドラマ化のために、署名活動をするなど奔走された方です。今、流行りの「歴史」の代表です。

早川さんは講演会の冒頭、「どの町にも文化や歴史はある。それは観光資源になりえるものだ」と言われました。かなり、勇気づけられる言葉です。

その後、早川さんが先頭に立ち、どのように上田市の歴史を観光資源にしていったか、いかにNHKの大河ドラマを誘致したのか、また、真田家の歴史について、熱く語っていただきました。最後に「下野市はどのように歴史を観光資源にしていったらいいか」と尋ねられると、「下野市には多くの古墳がある。古墳好きの女子も増えているのでこれを活かしていったら」との答えでした。

講演会を聞いて、下野市の歴史を観光資源にするためには、まず、市民がもっと歴史の価値を知り、好きになり、他市他県の方にいかにドラマチックにその歴史を語れるかが第一歩なのではないかと思いました。(中村節子)

市議会からのご案内

議会報告会を開催します

6月24日(土)

午前10時～正午(受付午前9時30分～)
場所 市役所庁舎3階 303・304会議室

議会で決定した内容を市民の皆様にお知らせするとともに、皆様から市議会へのご意見ご提案をいただき、意見交換を行う場として開催します。

内容 定例会の報告・意見交換 等

講演会を開催します

7月8日(土)

午後1時30分～(午後1時開場)
場所 市役所庁舎3階 303・304会議室

講師 的川 泰宣 氏

宇宙航空研究開発機構 JAXA 名誉教授

テーマ

(仮)学校・家庭・地域社会の連携とは何か
～いま日本で生きること～

☆どちらも申し込みは不要です。皆様のご参加をお待ちしております。
※お車でお越しの方は駐車券を会場までご持参ください。会場にて無料化処理をいたします。

平成29年 第2回定例会 5月31日(水) 議場にて開会予定

詳しい日程は決定次第、市ホームページ [下野市 市議会](#) [検索](#) でお知らせいたします。



編集後記

桜が咲くあたたかい季節が過ぎ、新緑の季節になりました。平成29年元旦には、初詣に行き皆様の健康とご多幸を、祈願して参りました。

世の中不況風が吹いている、予算を削り将来にそなえる時期に来ている、と思えてなりません。

平成29年第1回市議会定例会が2月28日から始まり3月22日に閉会しました。議案45件を可決しました。石橋中学校校舎改修工事については、議会としても特別委員会をつくり調査検討をしています。

皆様の代表者として活動してまいります。常に意見を伺い、前に進める努力をします。(柳田柳太郎)

議会だより編集委員会

- 村尾 光子 中村 節子
- 出口 芳伸 柳田 柳太郎
- 高橋 芳市 若林 稔

次号(第45号)は8月15日に発行します

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて下野市議会だよりの音訳テープを貸し出しています。
連絡先:(43) 1236